

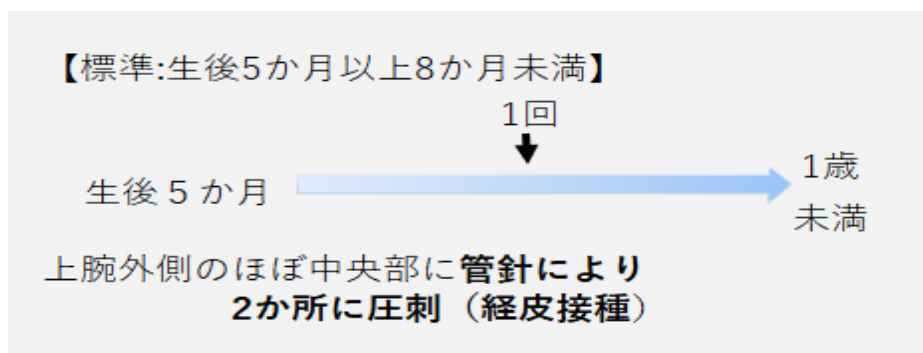
～お子様が生後5ヶ月を迎える保護者の方へ～

BCG（結核）予防接種について

接種前に予約を行い、親子（母子）手帳を持参してください。

対象年齢	1歳のお誕生日の前日まで (標準は生後5か月～8か月の間)
接種回数	1回
接種費用	全額公費負担
接種場所	下記の市内指定医療機関 または BCG 予防接種を行っている本島内の医師会会員医療機関

■BCG 予防接種スケジュール



お問い合わせ先

浦添市保健相談センター
健康づくり課
予防係

☎ 098-875-2100

浦添市内医療機関一覧（令和8年4月現在）

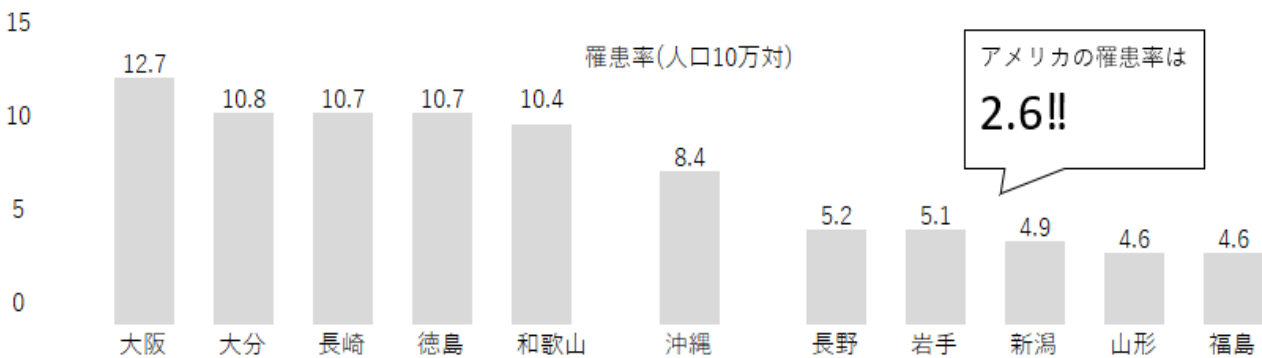
医療機関名	所在地	電話番号
1 あかみねクリニック	沢岬2-1-1	873-0071
2 ありんクリニック小児科	伊祖2-1-3 4F	874-2020
3 ぐるんぱ小児科	当山2-2-11 4F	871-1737
4 ティーダこどもクリニック	城間4-3-10-1	873-2020
5 同仁病院	城間1-37-12	876-2212
6 なかむら小児クリニック	宮城4-15-8	873-3900
7 まちなと小児クリニック	牧港2-46-12 4F	942-1110
8 みゆき小児科	前田3-3-8	878-5828
9 向井わらびクリニック	経塚 633 4F	894-3646

結核ってどんな病気？

結核は、咳やくしゃみなどによって空気中に結核菌を含んだ飛沫が飛び散るようになり、その結核菌を吸い込むことで感染が広がります（空気感染）。

典型的な症状は、咳、たん、微熱、倦怠感、食欲、体重減少です。特徴的なものがなく、発病者も初期には症状も感染性もないのですが、進行して症状が出現するとともに感染性も出現します。特に乳幼児や小児、高齢者は気づかずに進行してしまうことがあります。早期に発見できれば重症化を防げるだけでなく、周りの人への感染拡大も大きく防ぐことができます。

症状が2週間以上続いている場合は、早めの医療機関を受診しましょう。



厚生労働省「2022年 結核登録者情報調査年報集計結果について」を参考に作成

BCG ワクチンについて

結核を予防するために接種するワクチンで、1歳までに接種することにより、結核の発症を52～74%程度、重篤な髄膜炎や全身性の結核については64～78%程度予防することができると報告されています。

また、一度BCGワクチンを接種すれば、その効果は10～15年程度続くと考えられています。

接種後の注意・副反応

リンパ節の腫れや、局所・全身の皮膚症状などの比較的軽度な局所反応は一定の頻度で見られます。接種してから2週間ほど経つと、針の跡に一致して発赤や硬結が生じ、その後化膿してかさぶたを作ることがあります。このような反応は一般的にみられるものであり、特に接種後5～6週間ごろに最も強くあらわれるとされています。通常は接種した場所を清潔に保つことで治りますが、数か月以上にわたり長引いている場合や、大きな潰瘍になっている場合は医療機関を受診してください。

骨炎や全身性のBCG感染症、アナフィラキシーなどの重大な副反応の報告は稀です。

コッホ現象について

結核に感染している疑いのある人がBCG接種をした場合、通常より早い時期(接種後1週間～10日以内)に接種部位の発赤・腫脹及び化膿等の副反応が強く現れます。これを「コッホ現象」といいます。

コッホ現象と思われる反応が起こった場合は、接種した医療機関にお問い合わせ、または受診してください。